

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	専門学校桑沢デザイン研究所
設置者名	学校法人桑沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難	
デザイン専門課程	総合デザイン科 ビジュアルデザイン専攻	夜・通信	1,224 時間	80 時間×3=240 時間		
	総合デザイン科 スペースデザイン専攻	夜・通信	918 時間	80 時間×3=240 時間		
	総合デザイン科 プロダクトデザイン専攻	夜・通信	782 時間	80 時間×3=240 時間		
	総合デザイン科 ファッションデザイン専攻	夜・通信	1,122 時間	80 時間×3=240 時間		
	デザイン専攻科 ビジュアルデザインコース	夜・通信	544 時間	45 時間×2=90 授業時数		
	デザイン専攻科 スペースデザインコース	夜・通信	340 時間	45 時間×2=90 授業時数		
	デザイン専攻科 プロダクトデザインコース	夜・通信	272 時間	45 時間×2=90 授業時数		
	デザイン専攻科 ファッションデザイン専攻	夜・通信	272 時間	45 時間×2=90 授業時数		

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表
<http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

1. 理事（役員）名簿の公表方法

専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表
<http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会）事務局長	平成30年6月1日～令和4年5月31日	法人運営体制のチェック機能
非常勤	東京造形大学名誉教授	令和2年4月1日～令和6年3月31日	法人運営体制のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、全科目統一のフォーマットで作成しており、「授業概要」、「到達目標」、「授業の計画」、「成績評価の方法」、および「担当教員の実務経験」等について記載している。各科目は、この授業計画の記載内容に沿って授業を進めている。</p> <p>翌年度の授業計画は、11月～2月にかけて各分野から各科目の担当教員に作成を依頼し、各分野、及び教務学生課で取りまとめ、授業運営委員会で審議後、3月中旬にホームページに公開する。</p> <p>授業計画は、その科目を受講する学生に配布するとともに、ホームページで一般にも広く公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は、授業科目ごとに、試験、レポート、提出作品、作品の制作プロセス・プレゼンテーション、出席、授業・グループ制作への参加姿勢等を、総合的に評価して付与している。</p> <p>成績評価は、秀(90～100点)、優(80～89点)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(0～59点)の5段階に区分し、秀・優・良・可を合格・履修として認定する。</p> <p>すべての授業科目において、全授業回数の3分の2以上の出席がないと、未履修となり、進級・卒業は、在籍する各学科の教育課程のすべての必修科目を履修しなければならない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、客観的な成績評価の指標としてGPA制度を導入しており、その算出方法を公表している。</p> <p>算出方法は、授業科目の成績評価に対して4～0までのGP(Grade Point)を与え、そのGPに各科目の授業時数を乗じた合計を、必修科目の総授業時数で割って算出した平均値をGPAとしている。GPAは、学期毎に配布している通知表に記載しており、学生に通知している。</p> <p>GPA制度、算出方法等については、毎年度全学生に配布している「キャンパスガイド」に掲載、周知しているとともに、ホームページにも掲載し、一般に広く公表している。</p>	

客観的な指標の算出方法の公表方法	専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表 http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を以下のように定め、公表している。</p> <p>【ディプロマポリシー】</p> <p>専門学校桑沢デザイン研究所は、未来へ向かっての人間の精神的・物質的両面からの要求にデザインで応える人材の育成という教育理念に基づき、以下に示す知識、技術、能力などを身につけ、学則に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、総合デザイン科においては「専門士」の称号を付与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間や文化、社会について広い視野を持ち、自ら課題を見つけ出すことができる。 ・感性、思考力、造形力など基礎的な能力を身につけ、デザインに応用することができる。 ・専門的な知識、技術などを身につけ、デザインによって課題の解決に取り組むことができる。 <p>この卒業認定方針に沿って、各学科が定める所定の必修授業科目を、各年次ごとに全て履修した者に対して、「卒業認定会議」において卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表 http://www.kds.ac.jp/nyugaku/guide/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		デザイン専門課程	総合デザイン科 ビジュアルデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,856 単位時間/単位	680 単位時間/単位	2,448 単位時間/単位	1,292 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人の内数		587人の内 数	84人の内数	19人	187の内数	206 人の内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		デザイン専門課程	総合デザイン科 スペースデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,788 単位時間/単位	816 単位時間/単位	2,390 単位時間/単位	1,156 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人の内数		587人の内 数	84人の内数	19人	187の内 数	206人の 内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		デザイン専門課程	総合デザイン科 プロダクトデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,924 単位時間/単位	816 単位時間/単位	2,516 単位時間/単位	1,156 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人の内数		587人の内 数	84人の内数	19人	187の内 数	206人の 内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養関係		デザイン専門課程	総合デザイン科 ファッションデザイン 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,060 単位時間/単位	816 単位時間/単位	2,720 単位時間/単位	1,156 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
480 人の内数	587 人の内数	84 人の内数	19 人	187 人の内数	206 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業の担任教員による講義内容に関するサポートを適宜実施している。また、クラス制によりクラス担任による学修相談や学生生活相談、就職相談等を行っており、学修意欲のある学生へのサポートに加え、悩みを持った学生への支援も行い、全体的な学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
174 人の内数 (100.0%)	0 人 (0%)	83 人の内数 (47.7%)	91 人の内数 (52.3%)
（主な就職、業界等）内定者の 90%以上がデザイナー職での採用。各種デザイン制作会社、各種メーカー企業（家電、自動車、玩具、文具、家具、ファッションアパレル）や、建築設計事務所、空間ディスプレイ企業、IT 企業、出版社、広告代理店など。			
（就職指導内容）就職セミナー（自己分析、業界研究、面接練習など）、学内企業説明会（年間約 70 回開催）、キャリアカウンセリング、ポートフォリオ制作指導など			
（主な学修成果（資格・検定等））取得検定資格は特になし。授業課題が実践的であることから充実した就職活動用のポートフォリオが制作できる。			
（備考）（任意記載事項）内定者の 90%以上がデザイナー職での採用であり、メーカー企業よりもデザイン制作会社が就職先となる割合が高い。デザイン制作会社は、年明けの 1 月以降に採用を決定することが多く、2019 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年と比べると卒業生数に対する就職者数の割合が大幅に減少してしまった。なお、過去 3 年間の同割合は次の通り、2018 年度 73.8%、2017 年度 79.1%、2016 年度 84.1%である。また、卒業後に就職活動を始める学生も多数いることから、例年、卒業生数に対する就職者数の割合は、卒業後半年程度で 10%ほど上昇している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
582 人	15 人	2.5%

(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等
(中退防止・中退者支援のための取組) 全授業科目の中で3回欠席した科目があった場合、保護者と本人にその旨の通知を送付し、欠席理由や今後の出席について報告するよう指導している。また、教員によるオフィスアワーやカウンセラーとの相談窓口を用意し、相談や悩みのある学生に対して、早期解決を図ることができるよう努めている。

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	デザイン専攻科 ビジュアルデザインコース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,360 単位時間/単位	272 単位時間/単位	1,020 単位時間/単位	272 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人の内数		293人の内数	0人	19人	92人の内数	111人の内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	デザイン専攻科 スペースデザインコース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,156 単位時間/単位	272 単位時間/単位	884 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人の内数		293人の内数	0人	19人	92人の内数	111人の内数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	デザイン専攻科 プロダクトデザイン コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1、360 単位時間/単位	204 単位時間/単位	1、156 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人の内数	293人の内数	0人	19人	92人の内数	111人の内数		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	デザイン専攻科 ファッションデザイ ンコース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1、258 単位時間/単位	238 単位時間/単位	952 単位時間/単位	68 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人の内数	293人の内数	0人	19人	92人の内数	111人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業の担任教員による講義内容に関するサポートを適宜実施している。また、クラス制によりクラス担任による学修相談や学生生活相談、就職相談等を行っており、学修意欲のある学生へのサポートに加え、悩みを持った学生への支援も行い、全体的な学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
102 人の内数 （100.0%）	0 人 （ 0.0%）	37 人の内数 （ 36.3%）	65 人の内数 （ 63.7%）
（主な就職、業界等）内定者の 90%以上がデザイナー職での採用。各種デザイン制作会社、各種メーカー企業（家電、自動車、玩具、文具、家具、ファッションアパレル）や、建築設計事務所、空間ディスプレイ企業、IT 企業、出版社、広告代理店など。			
（就職指導内容）就職セミナー（自己分析、業界研究、面接練習など）、学内企業説明会（年間約 70 回開催）、キャリアカウンセリング、ポートフォリオ制作指導など。			
（主な学修成果（資格・検定等））取得検定資格は特になし。授業課題が実践的であることから充実した就職活動用のポートフォリオが制作できる。			
（備考）（任意記載事項）内定者の 90%以上がデザイナー職での採用であり、メーカー企業よりもデザイン制作会社が就職先となる割合が高い。デザイン制作会社は、年明けの 1 月以降に採用を決定することが多く、2019 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年と比べると卒業生数に対する就職者数の割合が大幅に減少してしまった。なお、過去 3 年間の同割合は次の通り、2018 年度 63.6%、2017 年度 61.9%、2016 年度 69.3%である。また、特に夜間部学生は、その殆どが大卒者や社会人経験者であることから、卒業と同時に就業する学生ばかりでなく、例年、卒業生数に対する就職者数の割合は、卒業後半年程度で 15%ほど上昇している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
582 人	15 人	2.5%
（中途退学の主な理由） 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 全授業科目の中で 3 回欠席した科目があった場合、保護者と本人にその旨の通知を送付し、欠席理由や今後の出席について報告するよう指導している。また、教員によるオフィスアワーやカウンセラーとの相談窓口を用意し、相談や悩みのある学生に対して、早期解決を図ることができるよう努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合デザイン科	300,000 円	900,000 円	380,000 円	
デザイン専攻科	165,000 円	460,000 円	185,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表 http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価報告書、参照資料、訪問調査・意見交換の実施に基づき、自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価を行い、評価書原案を作成に学校に提出することで、自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校運営の改善に資するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
㈱スタイルメント 代表取締役	令和元年 12 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで	デザイン関連業界等関係者
㈱フクフクプラス 代表取締役	令和元年 12 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで	デザイン関連業界等関係者
LINE 株式会社	令和元年 12 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで	卒業生
埼玉県高等学校美術工芸教育研究会 会長	令和元年 12 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで	教育に関し知見を有する者
神南宇田川町会 会長	令和元年 12 月 1 日から 令和 4 年 3 月 31 日まで	学識経験者・地域支援者
学校関係者評価結果の公表方法 専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表 http://www.kds.ac.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

専門学校桑沢デザイン研究所公式ウェブサイトにおいて公表 http://www.kds.ac.jp/
--